



Vestra Subwoofer Series

Vestra W10 / Vestra W12 / Vestra W15

取扱説明書

はじめに

Monitor Audio Vestra Subwoofer をご購入いただき誠にありがとうございます。本機は厳重な検査を行った上でお手元にお届け致しております。本機を未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。

。

開梱

最初に箱の中身を確認してください。 ※欠品がありましたら直ちに購入店に連絡してください。

本体	1 台	取扱説明書（本紙）	1 冊
電源ケーブル	1 本	保証書	1 枚
12V トリガーケーブル	1 本		

注意

- 海外（AC 100V 以外）では使用できません。
- 本製品が使用できる環境は、日本国内の商用電源（AC 100V, 50/60Hz）に限ります。移動用や携帯用発電機、航空機、船舶などの電源は使用できません。
- 入力電圧が AC 100V, 50/60Hz 以外のオーディオ機器には使用しないでください。

使用方法

■ 接続

RCA 入力端子 〈1〉

2チャンネル/ステレオアンプに接続する場合は、アンプのプリアウト端子から高品質の信号ケーブルで接続してください。AVレシーバーまたはプロセッサからの接続は、L/R どちらかの入力に1本のサブウーファーケーブルを使用してください。この入力を使用すると、サブウーファーのクロスオーバーコントロールが有効になり、使用するスピーカーや個人の好みに応じて設定する必要があります。

注：他の家電製品からの干渉を避けるため、ケーブルの長さは10メートルを超えないようにしてください。

LFE 入力端子(RCA) 〈2〉

この入力は、サブウーファーをAVアンプ/レシーバーに接続する際に使用します。LFE入力を使用する場合は、クロスオーバーダイヤルをLFE（最大）に設定してください。

その後、クロスオーバーの設定はAVレシーバー側で行われます。

ボボリュームコントロール 〈3〉

全体のサウンドバランスを取るために音量を調整するものです。

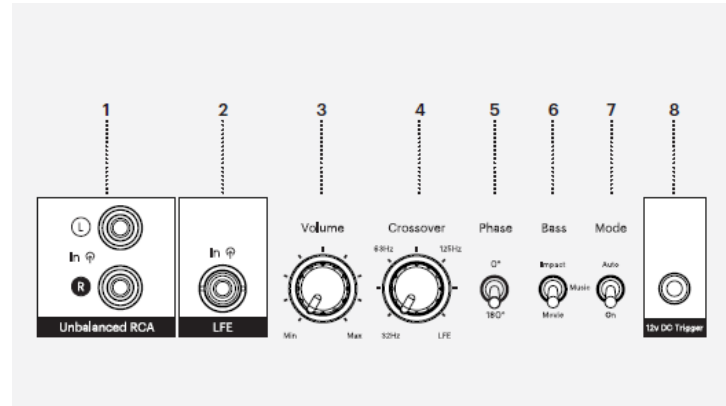
AVプロセッサやAVレシーバーアンプを使用する場合は、セットアップ機能内のテストトーン機能を使ってシステムの調整を行うことができます。（AVプロセッサまたはAVレシーバーアンプの取扱説明書のセットアップセクションを参照してください。）

クロスオーバー周波数コントロール 〈4〉

クロスオーバー周波数コントロールは、サブウーファーの再生する上限周波数（ローパス）を設定するためのものです。このコントロールは、メイン/サテライトスピーカーのサイズや低音の出力に応じて設定する必要があります。

フェーズコントロールスイッチ 〈5〉

フェーズコントロールは、サブウーファーとメイン/サテライトスピーカー間の遅延を同期させるために使用されます。最適な結果を得るためには試行錯誤が推奨されますが、ほとんどの場合、フェーズコントロールスイッチは0度に設定するのが基本です。



Bass スイッチ 〈6〉

このスイッチは、サブウーファーの低音応答をお好みに合わせて調整するものです。

- ・ Movie モード：最もフラットな周波数特性を提供し、最もニュートラルなサウンドになります。
- ・ Music モード：30Hz で+3dB のブーストがかかり、音楽再生時のダイナミクスが向上します。
- ・ Impact モード：低域の拡張性を犠牲にして音圧レベル（SPL）を高め、可能な限り最大の再生音量が求められる場合に使用できます。

Power Mode スイッチ（オン・オート機能） 〈7〉

スイッチを「On（オン）」の位置にすると、サブウーファーは常に電源が入った状態になります。「Auto（オート）」の位置にすると、入力信号を受信したときに自動的に電源が入ります。信号を受信しない状態が20分間続くと、スタンバイモードに切り替わり、再び信号を受信するまでその状態を保持します。

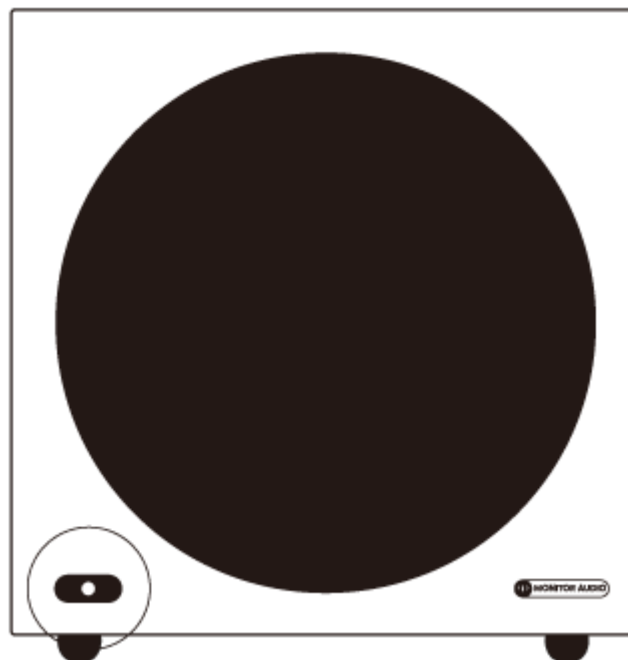
12V トリガー入力端子 〈8〉

AVアンプ/レシーバーからVestraサブウーファーへの外部パワーコントロール用端子。MONITOR AUDIOはこの機能の使用を推奨しており、リード線が付属しています。この12Vの信号はAVアンプ/レシーバーにより、スタンバイモードからサブウーファーの電源をオンにします。これにより、より正確に制御された自動オン/オフ機能が可能になり、エネルギー効率もはるかに高くなります。

■フロント LED カラー表示

フロント LED には複数のカラー/インジケーターがあります。その意味は下表を参照してください。

状態	LED 表示
スタンバイ	赤：点灯
電源オン	オレンジ：点灯
不具合発生	赤：点滅



セットアップ

■初期設定

以下の手順に従って、サブウーファースのセットアップを開始してください。各ステップの詳細は、該当するセクションで説明されています。

- ・すべての信号ケーブルを接続するまで、サブウーファースの電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- ・サブウーファースの設置を行ってください。すべての機能や設定は、サブウーファース背面のコントロールで構成できます。
- ・お使いのシステムに応じて信号ケーブルを接続してください。下記の AV またはステレオシステムのセクションを参照してください。
- ・付属の IEC 電源ケーブルを接続し、パワーボタンをオンにしてサブウーファースの電源を入れてください。

■設置

サブウーファースは最適な位置に設置してください。可能であれば、部屋のコーナー（隅）に直接置くのは避けてください。これは低音が過剰に響く“ブーミング”の原因になることがあります。設置位置が決まったら、ケーブルが無理なく届き、引っ張られた状態にならないか確認してください。RCA 入力ケーブルは、干渉を防ぐために 10 メートル未満に抑える必要があります。

Vestra W15 は背面にバスレフポートがあるため、過剰な低音のブーミングを避けるには、背面にある程度のスペースを取る必要があります。逆に、部屋の反応が物足りないと感じた場合は、壁に近づけて設置してもかまいません。

■オーディオ接続

アンプやレシーバーのモノラル・サブウーファー出力を使用する場合は、RCA タイプのコネクターでサブウーファーの左または右の入力端子に接続します。ステレオ RCA 接続を希望する場合は、接続元のアンプのプリアウト端子から、サブウーファーの左右 RCA 入力端子に接続してください。

※サブウーファーの電源が入った状態で、信号ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。

■AV システム

多くの AV アンプには自動セットアップ機能があります。お使いのアンプに自動セットアップ手順がある場合は、次の条件で実行してください：ボリュームは 10～12 時の位置、パワースイッチは「On」、クロスオーバーつまみは「LFE」に設定します。

自動セットアップが完了したら、AV アンプ側のサブウーファーの設定が正しいか確認してください。クロスオーバー周波数は、必要に応じて調整を行ってください。

すべてが正しく動作していることを確認したら、よく知っている音楽や映画の一部を再生しながら、徐々に音量を上げて、普段のリビングレベルまで持って行ってください。

■ステレオシステム

2 チャンネルのステレオアンプ、または LFE 出力のないアンプを使用する場合は、ステレオ L&R 入力が必要になることがあります。アンプの出力から、サブウーファー背面の「Inputs L & R」端子に、左右それぞれ 2 本の RCA ケーブルを接続してください。

プリアンプまたはインテグレートッドアンプの音量を低めに設定した状態で、以下のガイドに従ってサブウーファーの初期設定を行ってから、音楽やテストトーンの再生を開始してください。

- ・音量はおおよそ 10 時の位置に設定
- ・周波数はメインスピーカーに合わせて設定
- ・フェーズは 0 に設定

その後、よく知っている音楽を再生しながら、サブウーファーと他のスピーカーとの一体感とバランスに満足できるまで、音量や周波数を徐々に調整してください。

メインスピーカータイプ	クロスオーバー
大きなフロア型スピーカー	20-80Hz
小さなフロア型スピーカー	30-80Hz
大きなブックシェルフスピーカー	30-80Hz
小さなブックシェルフスピーカー	40-100Hz
小さなサテライトスピーカー	80-120Hz

■キャビネットのお手入れ

キャビネットの仕上げは、柔らかい布やマイクロファイバー製の布で定期的にほこりを払うことで維持できます。

サブウーファーには、溶剤や強力な洗浄/研磨剤は絶対に使用しないでください。

仕様

モデル	Vestra W10	Vestra W12	Vestra W15
システム形式	アクティブウーファー 密閉型	アクティブウーファー 密閉型	アクティブウーファー バスレフ型
ドライブユニット	1 × 254 mm	1 × 305 mm	1 × 381 mm
アンプ (クラス)	高効率 クラス D	高効率 クラス D	高効率 クラス D
周波数下限値	-6dB@19Hz	-6dB@17Hz	-6dB@17Hz
周波数上限値	-6dB @ 200Hz(LPF OFF)	-6dB @ 200Hz(LPF OFF)	-6dB @ 200Hz(LPF OFF)
アンプ部出力	瞬間最大：250W	瞬間最大：500W	瞬間最大：500W
位相調整	0-180 度	0-180 度	0-180 度
ローパスフィルター	32 - 200 Hz	32 - 200 Hz	32 - 200 Hz
入力端子	ステレオアンバランス RCA LFE アンバランス RCA 12 V Trigger 3.5 mm	ステレオアンバランス RCA LFE アンバランス RCA 12 V Trigger 3.5 mm	ステレオアンバランス RCA LFE アンバランス RCA 12 V Trigger 3.5 mm
サイズ (脚部除く)	344 x 330 x 360 mm	385 x 371 x 401 mm	540 x 526 x 556 mm
重量	13.3 kg	18.3 kg	30.3 kg
消費電力	60W	120W	120W
グリル	布製グリル (取り外し不可)	布製グリル (取り外し不可)	布製グリル (取り外し不可)

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。
修理が発生した場合、保証書を同梱の上ご発送ください。

※修理品についてのご質問・送り先は、裏表紙記載の当社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Monitor Audio** 日本輸入総代理店 株式会社 ナスベック

本社/サービスセンター

〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5
フリーダイヤル 0120-932-455

TEL 058-215-7510

FAX 058-268-7118



2025.4.4(Ver1.02)